

東海道新幹線 工務系現業事務所集約及び現業事務所耐震化の完了について

当社では、東海道新幹線の線路設備や電気設備を保守する工務系の現業事務所について、異常時における即応体制の強化等を目的とし、平成18年より新幹線駅付近へと集約してまいりました。

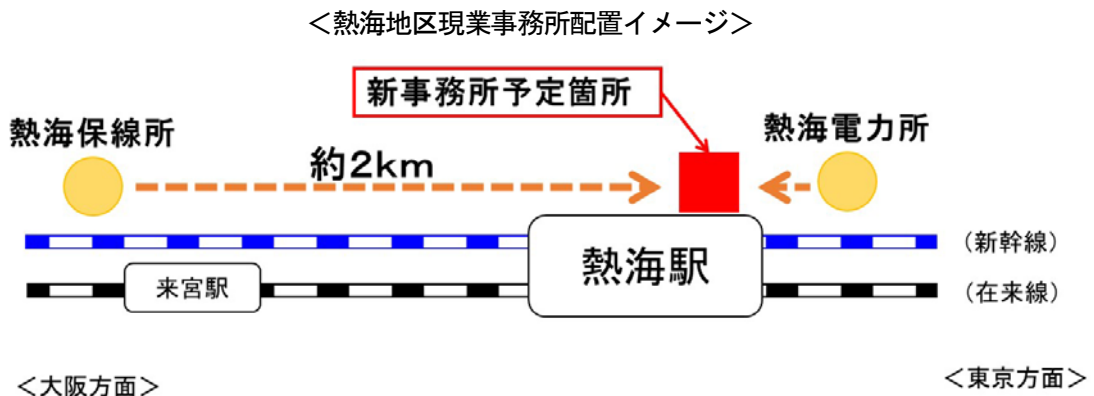
この度、熱海地区において、点在していた保線所及び電力所を新幹線熱海駅付近へ集約することとしました。これにより、東海道新幹線の全地区において、工務系現業事務所の集約が完了することとなります。

なお、あわせて進めていた現業事務所の耐震化についても、東海道新幹線の全地区において完了することとなります。

○熱海地区工務系現業事務所の集約について

(1) 概要

新幹線熱海駅の高架下にも事務所を新設し、保線所及び電力所を移設することで、異常時即応体制の強化、系統間（施設・電力）の連携強化及び業務遂行の円滑化を図ります。



(2) 工期

平成28年5月～平成31年3月

※新事務所の集約は平成30年12月に実施予定

(3) 工事費

約5.4億円